



鉄道高架化通信



第47号

令和6年11月発行
発行：豊田市建設部街路課

～教えて現場監督さん（清水建設(株)編）～

三河八橋8号踏切付近の工事について（清水建設(株)施工区間）

三河八橋8号踏切周辺では、高架の柱が姿を現しました。今後、床部分の整備を進めていきます。



若園小学校上空から中根町方面を望む（8月末撮影）



地域の方

せまい現場での苦勞や工夫はありますか。



三河八橋8号踏切付近から若園小学校方面を望む



現場監督

弊社の現場は、住宅地と仮線に挟まれ、その間のスペースが極端に小さく、工事を進めるために必要な場所が確保できません。このため、柱と柱の間に、通路を整備し、工事用車両の搬入路及び作業ヤードに使用しています。鉄道工事は現場の制約が多く、現場の監督が非常に難しいです。



市役所

先日、地域の方から現場監督さんが工事ヤードの外の住宅地の道路のごみ拾いをしているとお褒めの言葉をいただきました。



現場監督

私たちの仕事は、全国を転々としながら現場事務所を構え、いろいろな場所で工事を行っています。周辺の皆様とは短いお付き合いではありますが、信頼関係を構築し、工事のご理解をいただくことがなにより重要であると考えています。私たちの仕事に対する姿勢を評価していただいたことは非常にうれしく思います。これからも真摯に仕事に取り組んでまいります。

ちょっと途中下車

～豊かな自然と拠点としての発展～

若林地区にある高岡中学校や若林西小学校の校章を見たことがありますでしょうか。地域の方に伺いましたが、高岡中学校は「稲穂」を、若林西小学校は「牛の角」をイメージしているそうです。両方とも農業に関係するものであり、若林地区が豊かな穀倉地帯であったことを示しているのかもしれません。

若林地区は、駅から少し離れると田園地帯が広がり、春は水を張った水田を、夏には日差しを浴びて輝く緑の田んぼを、秋には夕日に映える稲穂を見ることが出来る地区であると地域の方にも伺いました。

一方で、都市機能の集約を図っていく地区に位置付けられている若林駅周辺は、区画整理事業が検討されるなど、駅周辺のまちづくりの議論が行われていると聞いています。

若林地区の特性は、昔ながらの伝統や懐かしさを感じる田園風景と未来の繁栄を期待する近代的なイメージの2つなのかもしれません。

仮線切替のタイミングで、当時の小学6年生の皆さんに描いてもらった「未来の若林の姿」をテーマにした絵も、自然の風景や近代的な建物の絵が多かったという印象です。改めて、展示されている絵を見てみようと思います。

高岡中の校章



若西小の校章



春の田植え



秋の稲穂

事業スケジュール

① 用地の取得

② 準備工事

③ 工事説明

④ 仮線工事

⑤ 仮線への切替
令和5年3月

⑥ 高架本体工事開始
令和5年5月

⑦ 高架本体への切替
令和8年3月 予定

⑧ 仮線撤去・側道等の整備

⑨ 工事完了

問合せ先

豊田市建設部街路課 建設第3担当
電話番号：0565-34-6651（直通）
FAX番号：0565-35-8196
メール：gairo@city.toyota.aichi.jp